

熱中症疑いの男性や「見守りシール」の女性



加藤署長(左から)鬼頭さん、水滝さん、加藤さん＝岐阜北署で

保護に貢献の3人に感謝状 岐阜北署

岐阜北署は四日、熱中症や道に迷っている高齢者の保護に貢献した三人に感謝状を贈った。岐阜市の水滝幸子さん(三七)、加藤まなみさん(三三)、鬼頭裕美さん(六五)が、贈呈式で加藤強署長から感謝状を受け取った。

職場の同僚の水滝さんと加藤さんは九月十八日深夜、二人で車で帰宅途中に道に迷っている女性(七〇)を発見した。女性の靴には、行方不明者の早期発見や保護を目的に市が交付する「見守りシール」が貼ってあ

り、シールのQRコードを読み取って女性の家族と連絡を取り、保護につながった。見守りシールは二〇二〇年六月に運用が始まった。QRコードを読み取ると家族に通知され、発見者は「娘の話題を出すと安心します」「左耳が不自由です」など、保護する際の注意点などを知ることができた。発見者と家族で、伝言板でのやりとりもできる。

「見守りシール」をご存じですか？

このシールに
気づいてください

あなたの支援が
必要です

見守りシールの普及
を呼びかけるチラシ

一方、鬼頭さんは九月十二日、自宅前で熱中症が疑われる男性(八〇)を見つけ、適切に水分補給などさせた上で警察に通報し、保護につながった。当時、男性の体温は三九・六度だった。

見守りシールについての問い合わせは、岐阜市福祉事務所高齢福祉課(058-2114) 2090(まで)。(酒井貴之)